

国語科学習指導案

単元名：

「井上ひさし 握手」

(全5時間扱い中 第1時)

授業日時 2019年9月2日(月) 第2校時

授業学級 3年B組

授業会場 3年B組教室

授業者

指導者

1) ねらい

生徒は、キーワードの説明を軸とした読解を通じて、物語のおおまかな内容を把握することができる。

(2) 授業のポイント

- ・「握手」の文章と初めて出会った生徒たちが、教師から提示されたキーワードについて説明する。
- ・物語のおおまかな内容を把握する。

(3) 展開

過程	学習活動	○授業者の主発問・◇留意点・★教材	時間
導入	1. 文の中で重要な単語を、スライドショーで見る。それぞれの単語が消える前にメモする。	◇班の数分の単語を用意する。 ★ICT (パソコン、テレビ)	5
	【学習問題】それぞれのキーワードは、作品の中で何を表しているのだろうか。		
展開	2. 「握手」の範読を聞いて、物語を知る。	○今流した単語はどんな場面で登場するでしょうか。 ◇提示した単語をどう扱うかはまだ伏せておく。	15
	【学習課題】文章中の描写を手掛かりに説明しよう。		
展開	3. 指定されたワードについて、班でもう一度読み返しながら意味を考える。	○「握手」の中ではどのような意味で扱われているでしょうか。 ◇どの場面、誰に関わるワードなのか整理しながら、文中での意味を考える。	25
	4. ワークシートに記入しながら、場面や意味について整理して共有する。	○それぞれの班の単語がどんな意味なのか共有しましょう。 ◇場면을順に追いながら共有できるように指名する。	
		【評価】キーワードの説明を軸とした読解を通じて、物語のおおまかな内容を把握することができる。(ワークシート)	
終末	5. 物語全体について、「難しい」「易しい」「深い」「面白い」どの印象を持ったか考え、全体で共有する。	○同じ物語を読んでも、読者が抱く印象は違いますね。どうしてでしょう？ ◇「読む人が違うから」に加え、「書き手の意図」にひっかかった故であることを説明する。 ◇「難しい内容を易しい表現に、易しい内容深い表現に、深い内容を面白い表現に」を提示する。	5